

九州でも数少ない手術支援ロボットを導入！ 人工関節手術支援ロボット「ROSA Knee システム」を採用しました。

— より精度の高い安定したインプラント設置に期待 —

正和中央病院では、12月より最新の人工関節手術支援ロボット「ROSA Knee（ロザ・ニー）システム」（米国 Zimmerbiomet 社製）を本格導入しました。最先端の医療機器を導入することで患者様へ安心・安全な医療を提供します。

手術支援ロボットによる手術はまだ始まったばかりで導入先の病院も少ないです。この機会にぜひ治療選択のひとつとして、ご周知ください。

【ROSA とは】

ROSA Knee は Robotic Surgical Assistant の略で人工膝関節置換術にて執刀医のサポートを行う手術支援ロボットです。

六軸多関節ロボットアームと光学カメラユニットに分かれており、膝の位置を正確に把握し、人工膝関節を置換するための骨切り量を 0.5mm 単位、 0.5° 単位での設定が可能となります。



【ROSA システム】活用のメリット

■ より正確に、より安定した手術を実現

従来、執刀医の経験や技術により感覚的に行っていたことが数値化できるため、熟練度の差に関わらず良好な結果が期待できます。手術前の計画だけでなく、手術中にリアルタイムでの計画変更も可能なため患者様一人ひとりに対して柔軟に対応できるシステムです。

■ 術後の QOL（生活の質）が向上

人工関節置換術の手術件数は年々増えており、この手術に至るまでの患者様は持続的な痛み悩まされています。精度が担保された手術支援ロボットの活用によって、患者様の体に掛かる負担も少ないことから術後の満足度向上や人工膝関節の長期耐久性も期待されます。

■ 保険適応で安心

ROSA Knee システムは保険適用で治療が受けられます。